

新・東の風

令和3年度
7月号

期末テストも終わり、1学期もあとわずかになりました。皆さん、振り返ってどうでしたか？「予想以上に頑張れた。」「まあまあかな。」「アカンかった」様々だと思います。全員が「予想以上に頑張れた。」であつたら校長先生としてはとても嬉しいのですが、しかし、そうとは限りませんので、残り少ないですが夏休みまでの期間を上手く使って修正してください。

「緊急事態宣言」も終わり、「まん延防止等重点措置」が7月11日まで適用されています。ワクチン接種も始まっていますが、まだまだ新型コロナウイルス感染症は終息が見られません。引き続き「手洗い」・「マスク着用」・「3密」に注意を払いながら生活をしてください。

月曜日の生徒集会で宮崎先生から「恩送り」のお話がありました。恩送り、聴いたことの無い人もいるかもしれません。恩を贈るという意味ですね。これと似た言葉で「恩返し」という言葉があります。「つるの恩返し」と言って昔話にも出てくる言葉です。これならみんな知っています。誰かに親切にしてもらった時、そのお礼にその人に親切にする、つまり親切を返すことです。これが恩返し。恩返しすることはとても大切で素晴らしいことです。

恩送りとは、恩返しと違って、誰かに親切にしてもらったら、それをその人に返すのではなく、他の人に返すことです。

こんな場面を考えて見て下さい。あなたが町を歩いている時、大事なカードを落としてしまいました。残念ながらどこに落としたのかわかりません。ところがある人がそのカードを拾ってくれました。その人はカードに書いてあつた住所を見て、あなたにそのカードを郵便で送ってくれました。でも、その人は自分の名前も住所も書かずにそのカードを送ってくれました。あなたはその人にお礼をしたいのですが、その相手がわからないので、お礼のしようもありません。つまり、恩返しができないのです。

さあ、ここで恩送りです。恩返しはできなつたけど、あなたはとってもうれしい気持ちになりました。そのうれしい気持ちを使って、他の誰かに親切にすることができます。ちょっとした手助けをすることができます。やさしい言葉をかけることもできます。つまりこれが恩送りです。

これならいつでもできますね。こんな特別なできごとがなくても、私たちは普段、色々な人から助けられ、支えられて生きています。でもあなたを支えてくれている人全部に恩返しをすることはできませんね。でもその恩を誰かに贈ることはできます。あなたが誰のためにちょっぴり良いことをするだけで、その恩送りは誰かを幸せにすることができます。これ、ちょっとすてきなことではありませんか。

ぜひ、小さくても良いですから恩送りをして見て下さい。その時、できれば、あなたのした恩送りを誰にもわからないようにして見てください。そうすると、あなた自身も幸せになります。誰にもわからないように良いことをして、自分も幸せな気持ちになるのかなあ、と思っている人もいます。でも、ぜひやってみてください。続けてみてください。

そんな「恩送り」のできる生徒が学ぶ東生野中学校であつて欲しいです。